

| | | | |
|---|-----------|------|-----------|
| 講義名 | 卒業研究 | | |
| 講義コード | 14407 | 授業形態 | 開講期・曜日・時限 |
| 担当教員 | 山本 隼年 | 演習分野 | SEM440 |
| 学部・学科 | 演習分野 | | |
| 人間社会学部 人間健康学科 | スポーツ医科学演習 | | |
| 概要説明 | | | |
| <p>○競技スポーツのアスリートやジュニア選手（小中高生）の「パフォーマンス向上」と「障害予防」につながる研究を実施しています。スポーツ現場では、科学的な知見に基づいたアプローチをすることが近年推奨されており、ゼミ活動を通して私たちがスポーツ現場に役立つ研究を発信していきます。</p> <p>・パフォーマンスが向上する最適なトレーニング方法は？ ・ケガを予防する為にどのようなアプローチが効果的か？ ・女性の月経周期を考慮したトレーニング方法は？ ・小学生の時にしておいた方がいいトレーニングは？</p> <p>○自身の競技パフォーマンス向上につながる取り組みも一緒に考えていきましょう。</p> <p>○講義は対面で行います。 ・研究演習 では、スポーツ医科学関連のさまざまなプロジェクトに参加したり、トレーニングやコンディショニングの基礎を勉強します。 ・研究演習 では、トレーニングやコンディショニングの応用やジュニアからアスリートまでのサポートを経験します。 ・卒業研究では、個別に研究計画を立て、データ計測、分析、卒業論文まで執筆します。</p> | | | |
| 主な卒業論文のタイトル | | | |
| <p>○何事にもポジティブに積極的に参加する学生さんを大歓迎します。 ○ゼミでは、「あいさつ=あがるく、いつも、さきに、つづける」を大事にします。 挨拶、礼儀、謙虚な姿勢を重視してゼミ活動をしていきましょう。</p> | | | |
| 選考方法 | | | |
| <p>○個別ガイダンス期間中に、必ず研究室を訪問し、教員と話す機会を持ってください。 その際、ご自身のことをしっかり伝えられるよう自己紹介とゼミで学びたいことを考えてきてください。 ○提出書類と面談の情報をもとに選考します。</p> | | | |

| | |
|--|----------------|
| 評価方法 | |
| ○出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性などから評価します。 | |
| 教員英字氏名 | 研究室 |
| Hayato Yamamoto | 5415教室、アスレチック棟 |
| 最終学歴 | |
| 同志社大学大学院 スポーツ健康科学研究科 博士後期課程 修了 | |
| 学位 | |
| 博士（スポーツ健康科学） | |
| 主な研究活動・社会活動・研究業績 | |
| <p>○ストレンクス&コンディショニングコーチとして、サッカー、バスケ、ラグビー、野球、ダンスなど様々なスポーツの医科学サポートを行っています。 ○スポーツサイエンティストとして、ラグビーをはじめ各種競技チームのサポートを行っています。</p> | |
| 趣味・特技 | |
| ○エクササイズ（ウエイトトレーニング、ランニング）、整理整頓、観葉植物の世話 | |
| 所属 | |
| 所属学会 | |
| <p>日本体力医学会 日本コーチング学会 日本体育・スポーツ・健康学会 日本パフォーマンス学会 日本フットボール学会 American College of Sports Medicine (ACSM) European College of Sport Science (ECSS)</p> | |
| 専門分野 | |
| <p>○スポーツ科学 ○スポーツ医学</p> | |
| 担当科目 | |
| 健康運動科学理論、健康運動科学実習、運動処方演習B、トレーニング科学理論、トレーニング科学実習、専門基礎演習、研究演習、研究演習、教養特講（人間健康学科へのいざない）、自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B | |
| 備考 | |
| 実務経験の有無及び活用 | |
| ○実務経験あり スポーツ実践現場でのインターンシップ（トレーナー分野、ビジネス分野）の機会を提供可能。 | |